

デートDVって？

交際相手からの暴力を『デートDV』と呼んでいます。DVというと、「なぐる」「ける」など体への暴力をイメージしがちですが、言葉や態度で、怖がらせたり心を傷つけることもDVなのです。

※DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力のこと。

暴力のかたち

身体的暴力

- なぐる
- ける
- 突き飛ばす など



精神的暴力

- どなる
- ばかにする
- 携帯電話を勝手に見る
- 行動をチェックする
- 友だち付き合いを制限する

- 別れたら死ぬと脅す など



経済的暴力

- 借りたお金を返さない
- いつもデート代を払わせる など

性的暴力

- 性的な行為を強要する
- 無理やりエッチなビデオを見せる
- 避妊に協力しない など

暴力をふるった後に、「もうしない」とあやまったり、やさしくしたりしても、その後も暴力を繰り返す、だんだんひどくなる場合があります。

どうしてデートDVは起こるの？

日常的に、インターネットなどで暴力表現に接していると、「問題解決のための暴力は許される」という間違った考えを持ってしまい、交際相手に暴力をふるうことがあります。また、「女の子はおとなしくて従順、男の子は少しぐらい強引な方がいい」など、性別で固定的に考えることも、原因の一つです。

一方的な対応

Illustration showing a one-sided relationship where the man is aggressive and the woman is passive.

Man: 日曜に映画行かない？
Woman: ごめん、クラブ。試合なんだ。
Man: クラブなんか休めよ。オレとどっちが大事なんだ！
Woman: え～！
Man: だれにメールしてるの？
Woman: S子。クラブの打ち合わせなんだ。
Man: 女の子とのメールや電話はだめ！付き合ってるんだから、私以外の女の子のアドレス全部消してよ！
Woman: そんな～

あなたと相手の行動チェック ひとつでもあれば注意しよう！

- ☐ 他の人(異性)と会話すると怒る。
- ☐ 言うとおりにしないと怒る。
- ☐ 二人の予定も自分の都合だけで決める。
- ☐ なにを着るか、どこに行くか指示する。
- ☐ ひんぱんにSNS等で連絡してきて、なにをしているかチェックする。

相手を尊重した対応

Illustration showing a respectful relationship where both partners communicate and respect each other's needs.

Man: 日曜に映画行かない？
Woman: ごめん、クラブ。試合なんだ。
Man: 残念。じゃあ、いつがいい？
Woman: 次の週なら大丈夫。
Man: だれにメールしてるの？
Woman: S子。クラブの打ち合わせなんだ。
Man: しょうがないな。でも、一緒のときは他の子にメールしてほしくないな。
Woman: ごめん。気をつけるよ。

愛情とは、互いに相手を尊重すること

自分の思いを伝えるだけでなく、自分とは違う相手の考え方も認めることが大切です。「わかるはず」ではなく、わかってもらうために言葉にし、コミュニケーションをしっかりとることが必要です。また、交際しているからといって、なんでも相手にあわせることはありません。イヤなことは「イヤ」と伝え、「自分らしさ」を大切にしましょう。